

# 2025年12月期第2四半期(中間期) 決算参考資料

2025年8月8日

グリーンランドリゾート株式会社

(証券コード:9656)

<https://www.greenland.co.jp/>

(ご注意)

本資料で記述されている業績予想や今後の計画等は、現時点で入手可能な情報による判断に基づいております。今後、将来の事業を取り巻く環境が大きく変動するリスクや不確実性が存在します。

従いまして、業績予想や今後の計画等の実現を保証するものではありません。

# 目次

1. 2025年12月期第2四半期(中間期)連結決算(累計).....	3
2. 2025年12月期通期連結業績予想.....	7
3. 業績推移.....	8
4. 2025年12月期第2四半期末配当の件.....	9
5. 下期の具体的取組.....	10

# 1. 2025年12月期第2四半期(中間期)連結決算(累計)

## ① 連結決算概要

(単位:百万円)

	2025年	2024年	増減	増減率(%)
売上高	3,012	2,943	68	2.3%
売上総利益	611	582	28	5.0%
営業利益	277	258	18	7.1%
経常利益	278	274	3	1.4%
親会社株主に帰属する中間純利益	202	193	8	4.6%

当中間連結会計期間におきましては、雇用・所得環境の改善に伴う景気の回復傾向が見られ、インバウンド需要もますます高まり、観光・レジャーに対する消費動向も堅調に推移する中、2年目となる「中期経営計画2026(2024年12月期～2026年12月期)」の各重点施策に基づき、積極的な事業推進に取り組んでまいりました。

また、書き入れ時となるゴールデンウィーク期間中の天候不順により、「北海道グリーンランド」の入園者数の落ち込みはございましたが、各施設が集客拡大に向け新たな施策に取り組み、特に九州の遊園地事業ならびにゴルフ事業がけん引し、当社グループの業績につきましては、順調に推移いたしました。

## ② セグメント別売上高・損益

(単位:百万円)

中間連結会計期間	売上高			セグメント損益		
	2025年	2024年	増減	2025年	2024年	増減
遊園地	1,365	1,342	22	348	315	33
ゴルフ	534	514	19	63	46	16
ホテル	834	825	8	△33	△5	△27
不動産	81	81	0	55	54	1
土木・建設資材	195	178	17	46	39	7
消去又は全社	—	—	—	△202	△190	△12
合計	3,012	2,943	68	277	258	18

### 【遊園地】

**売上高:** 九州の遊園地は、春に「プリキュア」シリーズの最新作を題材としたフロアイベントや小学生モデルユニット「KOGYARU (コギアル)」のライブ、多彩なキャラクターショーを開催し、幅広い世代の集客を図りました。その他、「タマホームスペシャル花火物語」を特別開催したほか、「レジャフェス」を展開するなど、新たな切り口でのイベント開催に注力しました。

施設面では、新規アトラクションとして回転ブランコ「ウェーブスインガー GURUGURU」ならびに体験型アトラクション「黄金ハンター ～7つの挑戦～」をオープンさせるとともに、園内飲食店舗や物販店舗の大規模リニューアルを実施して遊園地の魅力増大を図り、多くのリピーターの皆様に対しても刷新感を訴求しました。この結果、利用者数は前年同期より増加しました。

北海道のスキー場は、早めの降雪によりゲレンデコンディションも良好で、オープン当初から順調に集客が進み、利用者数は前年同期より増加しました。

北海道の遊園地は、春のオープンより多彩なキャラクターショーのほか、「グリコス」や「脱出ゲーム」など、話題性の高いイベントを開催して、幅広い層の集客を図りましたが、集客の山場となるゴールデンウィーク後半の雨天が影響し、利用者数は前年同期より大きく減少しました。

以上の結果、売上高は22百万円の増収となりました。

**セグメント損益:** 売上高の増加に伴い、セグメント損益は33百万円の増益となりました。

## ② セグメント別売上高・損益（前ページより続き）

### 【ゴルフ】

**売上高:** グリーンランドリゾートゴルフコースでは、季節毎に趣向を凝らした多様なオープンコンペを開催するとともに、効率的な予約枠の拡大ならびにスムーズなプレー環境づくりに注力して、集客拡大を図りました。

大牟田ゴルフ場・広川ゴルフ場では、コース整備に重点的に取り組み、競技大会や各種ゴルフコンペの獲得に努めました。また、クラブハウスの改修などを積極的に行い、利用満足度向上によるリピーター拡大を図りました。

そのほか、3つのゴルフ場と2つのオフィシャルホテルを有するメリットを活かし、韓国内送客エージェントならびにオンライン予約を通じて、韓国からのゴルフプレイヤーの獲得を図りました。

以上の結果、売上高は19百万円の増収となりました。

**セグメント損益:**売上高の増加に伴い、セグメント損益は16百万円の増益となりました。

### 【ホテル】

**売上高:** 九州のホテルブランカでは、遊園地やゴルフ場に隣接する絶好のアクセスの良さを全面に打ち出して、お客様のニーズに合わせたお得な宿泊プラン造成により集客を図ったほか、平日の利用促進に向け、OTA(オンライン旅行代理店)を活用して、ビジネス客やインバウンドの取り込みにも注力しました。また、料飲部門では、鍋バイキングや中庭バーベキューのほか、ランチバイキングをPRして、更なる利用促進を図りました。

九州のホテルヴェルデでは、グリーンランドリゾートのオフィシャルホテルとしての強みを打ち出し、特に、開業30周年を記念した「こだわりの朝食」のご提供に注力し、幅広い層のご利用拡大を図りました。また、スイートルームの改装を行うとともに、多彩な夕食プランのご利用を促進するなど、客単価の増加に取り組みました。料飲部門では、洋食レストラン「フォンターナ」の「ランチバイキング」、和食レストラン「小岱」の季節の会席料理やイベント「日本酒を楽しむ会」の開催、「バーベキューガーデン」など、各々の魅力を活かしたメニュー展開により集客を図りました。

北海道のホテルサンプラザでは、駅に近い好立地をアピールするとともに、OTAを通じて、きめ細やかなニーズをとらえた宿泊プランの提供に取り組み、ビジネス客や各種団体客の利用拡大を図りました。また、「ホワイトパーク(スキー場)」や近隣ゴルフ場の利用との宿泊セットプランの造成により、好調なインバウンドの取り込みにも注力し、料飲イベントの開催や各種宴会プランのリニューアルを行うことで、売上拡大を図りました。

北海道の北村温泉ホテルでは、「源泉掛け流し43℃の名湯」と強塩泉で保温効果が高い「温まりの湯」をPRして、日帰り入浴とともに、短期滞在型のご利用促進に努めました。

以上の結果、売上高は8百万円の増収となりました。

**セグメント損益:**売上高は増加したものの売上原価の増加に伴い、セグメント損益は27百万円の減益となりました。

## ② セグメント別売上高・損益（前ページより続き）



### 【不動産】

**売上高:** グリーンランドリゾートエリアを中心とした土地賃貸が堅調に推移し、売上高は前年同期並となりました。

**セグメント損益:** 売上原価の減少に伴い、セグメント損益は1百万円の増益となりました。

### 【土木・建設資材】

**売上高:** バイオマス火力発電所への燃料投入業務が堅調で、建設資材のポゾテックの製造受託が好調に推移したことで、

売上高は17百万円の増収となりました。

**セグメント損益:** 売上高の増加に伴い、セグメント損益は7百万円の増益となりました。

## 2. 2025年12月期通期連結業績予想

(単位:百万円)

	2025年予想	2024年実績	増減	増減率
売上高	6,700	6,412	287	4.5%
営業利益	710	774	△64	△8.4%
経常利益	690	780	△90	△11.6%
親会社株主に帰属 する当期純利益	480	534	△54	△10.2%

※ 上記業績予想の数値は、現時点において得られた情報に基づき算出したものであり、今後の経済情勢、事業運営における様々な状況変化によって、実際の業績は上記予想の数値と異なる場合があります。

### 3. 業績推移



#### ① 通期

(単位:百万円)

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年 予想
売上高	5,754	5,732	6,406	6,412	6,700
売上総利益	583	1,368	1,535	1,454	—
営業利益	34	763	888	774	710
経常利益	202	820	891	780	690
親会社株主に帰属する 当期純利益(△損失)	△1,477	428	463	534	480

#### ② 中間(累計)

(単位:百万円)

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
売上高	2,339	2,538	2,970	2,943	3,012
売上総利益	17	554	698	582	611
営業利益(△損失)	△259	271	392	258	277
経常利益(△損失)	△162	324	401	274	278
親会社株主に帰属する 中間純利益(△損失)	△101	228	307	193	202

※ 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2022年度の期首から適用しており、2022年以降の連結(通期・中間)業績推移については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

## 4. 2025年12月期第2四半期末配当の件

当社は、2025年12月期第2四半期末の配当金につきまして、2025年8月8日開催の取締役会にて、1株につき、5円とすることを決議しました。

なお、直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移は下記のとおりです。

(参考)直近5事業年度の1株当たりの配当金の推移

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
第2四半期末	2円00銭 普通配当2円00銭	3円00銭 普通配当3円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	5円00銭 普通配当5円00銭	<b>5円00銭</b> <b>普通配当5円00銭</b>
期 末	2円00銭 普通配当2円00銭	9円00銭 普通配当9円00銭	9円00銭 普通配当9円00銭	11円00銭 普通配当11円00銭	9円00銭 普通配当9円00銭 (※)
年 間	4円00銭 普通配当4円00銭	12円00銭 普通配当12円00銭	14円00銭 普通配当14円00銭	16円00銭 普通配当16円00銭	14円00銭 普通配当14円00銭 (※)

※2025年期末配当及び年間配当につきましては、2025年8月8日時点における予想額となります。

## 5. 下期の具体的取組

### 【遊園地事業】

#### ①グリーンランド(九州)

- ◆「さのよいファイヤーカーニバル2025」(花火打上7月12日(土)) ※「さのよい踊り」コンテスト」7月13日(日)開催  
・30分間で10,000発の怒涛の打上花火を実施。「さのよい踊り」コンテストは50チーム以上が参加

#### ◆夏イベント

- ・「クラウドナインパーク」(7月25(金)～8月17日(日)の計24日間)  
Adoをはじめとする人気アーティストが所属する芸能事務所「クラウドナイン」とのコラボイベント
- ・「まなつの大実験ゆうえんち」(7月19(土)～8月24日(日)の計37日間)  
園内アトラクションなどで「遊びながら学ぶ」をテーマに科学実験を体験!
- ・「キミとアイドルプリキュア♪ ファンミーティング」(8月10日(日))
- ・「仮面ライダーガヴ スペシャルショー」(8月11日(月・祝))
- ・「ウルトラマンオメガショー」(8月12日(火))
- ・「仮面ライダーガヴ ショー」(8月13日(水))
- ・「GREENLAND HORROR SUMMER」(ホラーナイトイベント)(8月10日(日)～12日(火)の3日間)
- ・「ワンダーイルミネーション」(8月10(日)～14日(木)の5日間)
- ・その他、遊園地内で多数のミストスポットに加え、「ずぶ濡れ SHOWTIME」で涼感を演出いたしております!

#### ◆アトラクション

- ・グリーンランドの大型プール施設「ウォーターパーク」営業中! (7月19日(土)～9月7日(日))  
ウォーターキャノンで盛り上げる「スプラッシュフェス」を連日開催

#### ◆秋以降のイベント

- ・「タマホームスペシャル2025 第26回花火物語」(9月13日(土))
- ・「夜のスパイミッションからの脱出」(11月1日(土)～3日(月・祝)、11月8日(土)～9日)の5日間開催)
- ・土日を中心に、人気のキャラクターショーや話題性の高いイベントを開催予定

## 【遊園地事業】

### ②北海道グリーンランド遊園地

#### 【スペシャルイベント】

- ・「JOIN ALIVE(ジョインアライブ) 2025」(7月19日(土)~7月20日(日))
- ・「いわみざわ彩花まつり花火大会2025」(7月26日(土))
- ・「いわみざわ公園花火大会」(9月14日(日))

#### 【夏休み期間のイベント】 ※8月9日以降開催分

- ・「KOGYARU スペシャルライブ」(8月10日(日))
- ・「仮面ライダーガヴ ショー」(8月11日(月・祝)・8月15日(金))
- ・「ナンバーワン戦隊ゴジュウジャー ショー」(8月12日(火)・8月17日(日))
- ・「キミとアイドルプリキュア♪ ショー」(8月13日(水)~14日(木)・8月16日(土))

#### 【新規アトラクション】

- ・ファミリー向けアトラクション「ぞうさんとBOON」導入！(8月中旬オープン予定)

## 【ゴルフ事業】

### ■「グリーンランドリゾートゴルフコース」

- ・36ホールを有するパブリックゴルフ場としての強みを活かし、会員組織「友の会」の拡充と合わせ、多彩なオープンコンペによるリピーターの拡大を図る
- ・10月より料金改定を実施し、収益拡大を図る
- ・4人プレーの促進や早朝・薄暮プレーヤーの利用促進と効率的な予約の獲得で集客拡大を図る

### ■「有明カントリークラブ大牟田ゴルフ場」ならびに「久留米カントリークラブ広川ゴルフ場」

- ・両メンバーズゴルフ場において、コース内へのカート乗り入れ可能を強みとして、復調傾向にある大型ゴルフコンペの獲得に努める
- ・ゴルフカートの台数を増やし、更なる集客拡大を図る

### ■樹木の伐採やカート道路補修など、快適なプレー環境の整備に注力し、リピーターの拡大を図る

## 【ホテル事業】

### ■ ホテルブランカ・ヴェルデ

グリーンランドリゾートのオフィシャルホテルとして、お客様のニーズを的確に捉えた、きめ細やかな宿泊プランの造成による集客に努める

#### 【ホテルブランカ】

- ・遊園地(プール)やゴルフ場に隣接する強みを活かし、ファミリー層からビジネス層や学生団体まで、多様な宿泊プラン販売による集客を図る

#### 【ホテルヴェルデ】

- ・開業30周年を記念して開始した「こだわりの朝食」の継続による新たなブランディングに注力し、新規顧客の獲得ならびにリピーター拡大を図る
- ・OTA(オンライン旅行代理店)を活用した情報発信と集客力強化とともに、遊園地利用特典などの差別化による自社予約の促進に注力して収益拡大を図る
- ・日本酒の拡充をはじめ、様々な料飲イベント開催による集客を図る

### ■ ホテルサンプラザ・北村温泉ホテル

#### 【サンプラザ】

- ・駅や遊園地(スキー場)に近い立地を活かし、海外を含めたOTAの活用により幅広い集客を図る
- ・メニューの見直しや魅力あるイベント開催で、宴会利用促進を図る

#### 【北村温泉】

- ・「源泉掛け流し43度の湯」ならびに湯冷めしにくい強塩泉「温まりの湯」を強みとして、滞在型の「オールインクルーシブプラン」の販売促進に注力する

## 【不動産事業】

- ・グリーンランドリゾートエリアの魅力向上に繋がる新規テナントの誘致に努める
- ・計画どおりの着実な賃料改定を実施することに加え、同エリアから離れた社有地の有効活用や売却等に積極的に取り組み、更なる収益拡大を図る
- ・グリーンランドリゾートエリアの変遷
  - 1966年 7月 三井グリーンランド遊園地営業開始
  - 1966年 9月 三井グリーンランドゴルフ場営業開始
  - 1968年 9月 三井グリーンランドホテル(ブランカ)営業開始
  - 1994年10月 ホテルヴェルデ営業開始
  - 1995年 6月 モナコパレスグリーンランド店オープン
  - 1997年 7月 KKT住宅展示場オープン
  - 2003年11月 ヌルボンガーデン荒尾オープン
  - 2003年12月 タマホームグリーンランド営業所(住宅展示場)オープン
  - 2005年 4月 パスカワールドグリーンランド店オープン
  - 2006年11月 グリーンスマイル1番館オープン
  - 2008年 4月 グリーンスマイル2番館オープン
  - 2011年 9月 ナフコ荒尾東店オープン
  - 2013年 4月 大規模太陽光発電施設(メガソーラー)供用開始
  - 2018年 9月 賃貸アパート(1棟4戸)事業開始

## 【土木・建設資材事業】

- ・堅調なバイオマス火力発電所への燃料投入業務の着実な受託を推進
- ・ポゾテックやコールサンド等の建設資材販売のほか、土木工事の受注拡大に向け、営業ネットワークの拡大に努める